



環境最前線を見つめて!!

《東京第一教区》<http://homepage3.nifty.com/souaikai-tokyo/>

《現代は親子の会話が大切な時代。そして次に大切な事は親子で環境を語る事では無いでしょうか。》

平成19年1月13日発行 第88号

エコちゃん、博士の《新 環境問題見聞記》

《環境》 「太古地質時代の5億7500万年前から2億4700万年前まで。海生の無脊椎動物が栄え、後半には魚類・両生類も発展した。そんな昔から生き延びて来た蛙に危機! 「世界中でカエルなど両生類を絶滅被害を与えているカエル・ツボカビ症が昨年12月に国内で確認されました。アジアでは初めて。感染力の致死率も90%以上で、両生類の絶滅が危という。日本野生動物医学会等で情報提供を訴え緊急事態宣言を公表したそうです。ツボカビは真菌の一種。アフリカ固有の菌だったが、豪州や中南米の両生類が壊滅的被害を受けている。ヒトへの感染は確認されていない。」「蛙の面に小便なんて云ってられないだケロ。」

《環境》

「荒れた丹沢山地の自然環境の再生に、増えすぎたニホンジカを5年間で半減させるなどの再生計画案に乗り出した。

丹沢ではニホンジカが森の下草を食べ尽くし、土壌流出が深刻化している。03年度から今迄の農業被害対策と、丹沢山地の環境を回復させるため捕獲を始めた。しかし、県や研究者、NPOなどが04~05年度に実施した総合調査を推計すると、3700~4500頭もいることが分り、捕獲の実効性が疑問視された。

このため県は、環境省のマニュアルをもとに、丹沢のシカが維持される程度の1500頭まで減らす方針などを打ち出し再生計画案で5年後の具体的な目標を設定した。相次いでいるシカやイノシシによる食害も減らし、渓流域の年間土壌流出量を現状に減らす目標を明確化した。丹沢山塊の自然環境を将来につないでいくために今やるべきことをしっかりスタートさせたい」と云う事でした。」

《環境》 「海洋水産部によると、定期航路で昨年の南北間輸送実績は1万2329TEUで、北朝鮮からは5469TEU、韓国からは6860TEUの貨物が輸送

されたそうです。100TEUと253TEUを積載可能の船舶が月4回運航。北朝鮮にコメや肥料以外の支援物資と部品を輸送しているそうです。貨物の内訳をみると、殆ど砂で1513万2266トン。一般貨物は21万5863トン、支援肥料は35万トンと集計された。海洋水産部関係者は、「沿岸環境汚染により韓国では砂の採取が規制され、南浦から大量に砂を持ってきているらしい。北朝鮮の核実験後も、砂の輸送量には変化がないという。」「しかし、どちらも環境汚染が課題で、而もそんなに大量の砂を北朝鮮から採取し

愛国心は、郷土愛は地域を美化する事から!! 続けたら、北朝鮮の沿岸海域の自然が相当悪影響を受ける事は間違いないでしょう。」



地域清掃を始めませんか!

《エネ》

「一月早々、もっと目出度い話は無いのかね。エコ君」「シャープは9日、太陽光発電用パワーコンディショナを業界で初めて、エコマークの取得と発表。」

「うん、それは目出度い。」

「パワーコンディショナは、モジュールで発電された電力エネルギーを家庭規格仕様の

電力に変換する装置です。取得したコンディショナは、業界トップクラスの電力変換効率を誇り、環境負荷物質の発生が無い非常に優れた商品です。」

《エネ》

「米国のゼネラル・モーターズは11日、日本を含むアジアと北米、欧州で燃料電池車の大掛かりな実証テストを開始する方針だそうです。世界各地に数十台~100台投入予定で、かつてない大掛かりな実証テストになるそうです。燃料電池車は、勿論水素と酸素を反応させて電気エネルギーを発生させ、水だけを排出するとされるが。充電に時間がかかり、短い走行距離が技術的な課題となっています。

ゼネラル・モーターズは大規模テストで短期間に多くのデータを収集、開発の短縮を考えて居るらしい。」

《三月四日の講習会 [東フォーラム/明治神宮会館へ行こう]